

# ワンケアの取り組み について

光ユニット 武智 達也



# 事例対象者の情報

・名前U様

既往歴

左大腿骨頸部外側骨折

血行不良による両足の赤身・冷感

腸閉塞

認知症



# U様の両足の状態



# ワンケアの取り組み方法について

- ・車椅子上で行う方法

- ・ベット上で端座位になって行う方法

- ・ベット上で臥床して行う方法。

## 車椅子上での方法

### 効果

- ・両下肢の循環障害緩和
- ・腹圧と体幹の筋の刺激
- ・下半身の血流改善



今から体操を初めますね。

職員が座椅子に座り、左右に体幹を傾ける。



## ベット上で端座位になって行う方法

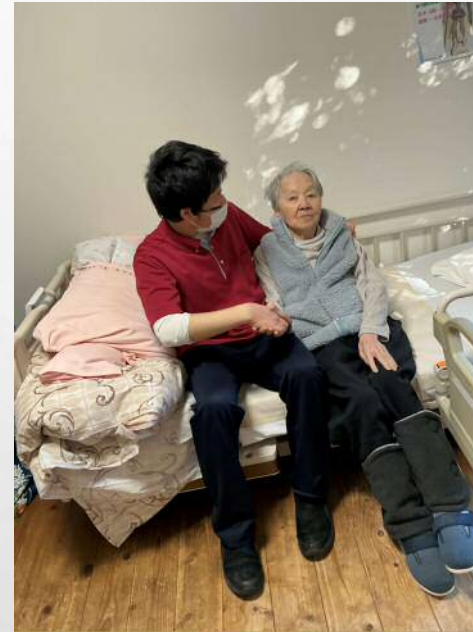
① 事前の声かけをする。



② 左に体幹を傾ける



### ③前後に傾け腹圧をかける



④膝を伸ばしつま先を上に向けて脚を上げる



⑤曲げている膝の高さまで上げて戻す



## ベット上で臥床して行う方法

効果

両脚の血流改善

血流障害と冷感がある両脚  
の改善

方法

**SLR**体操



2025年11月



看護師さんに報告すると、血流改善をする薬があるとのこと。それを内服してみないかと提案された。

**2025年12月**から朝 昼 夕食時に内服を開始

2025年9月



2026年2月



# 職員の感想

## 良かったこと・気づいたこと

- ・車椅子上での姿勢が良くなった。食事がスムーズに進むようになった。
- ・ウトウトしている時にコミュニケーションを取りながら出来た。
- ・トイレ移乗の動きがスムーズになった。
- ・継続して行ったことで、足の血色の変化が見られた。

## ・大変だったこと

- ①車椅子上で足を組んでいる為、足をおろすところから行うのが大変。
- ②ベット上で横になって取り組む際に、体を動かすと怖がってしまう。
- ③ご本人様に力が入ってしまい、拒否が強く見られる。

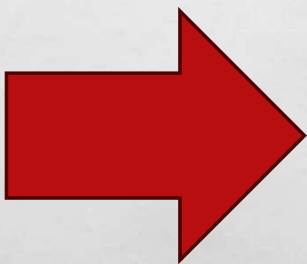
# 改善してきたこと

①



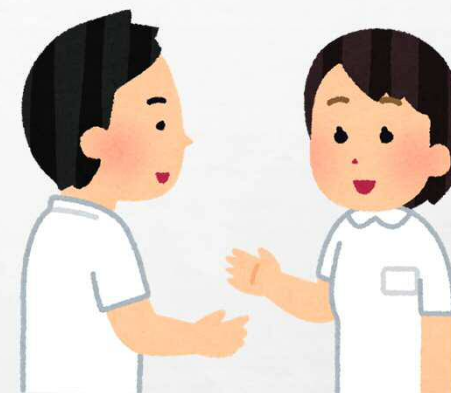
車椅子で足を組んでいた場合、職員が声掛けしおろしてもらうように声掛けをする。

② ③



- ・職員側がどのように声掛けしながら良いかを考え、統一した。  
例;「今から体操を始めますね。」「私が支えているから大丈夫ですよ。」
- ・時間をおいて対応した。

# まとめ



- ・ワンケアを通してU様の血流改善緩和の重要性を理解することができた。
- ・機能訓練士さんや看護師さんと連携しておくことの重要性。
- ・ワンケアをするまでの声掛けの重要性
- ・足の血行不良だけでなく、車椅子上での姿勢が良くなった等他のところでも改善が見られた。

ご清聴ありがとうございました。